

2020年7月10日

各 位

会社名 松尾電機株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 常俊 清治  
(コード番号 6969 東証第2部)  
問合せ先 常務取締役執行役員総務経理部門長 網谷 嘉寛  
(TEL 06-6332-0871)

「流通株式時価総額」に係る上場廃止猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、2020年3月31日時点の当社株式の流通株式時価総額が、有価証券上場規程第601条第1項第2号b本文に定める所要額（5億円）未滿となり、当社株式が「流通株式時価総額」に係る上場廃止猶予期間入りしたことが、株式会社東京証券取引所より発表されましたのでお知らせいたします。

記

1. 猶予期間

2020年4月1日から2021年3月31日まで

なお、上記期間中の基準日等時点において、流通株式時価総額が5億円以上となった場合は、上場廃止猶予期間入りから解除されます。

2. 今後の見通しについて

当社は、「企業の存在を許容するのは、お客様である」ことを原点に、タンタルコンデンサ、回路保護素子及びフィルムコンデンサを製造し、主にカーエレクトロニクス分野・電気計測器・医療機器・リチウムイオン電池向けに販売することを事業としております。

当社は、2020年5月14日付で、「2020年3月期決算短信」を開示し、2020年3月期の業績は、売上高 3,659 百万円（前年同期比 16.5%減少）、営業利益 25 百万円（前年同期比 71.9%減少）、経常利益 21 百万円（前期比 60.0%減少）、当期純損失 193 百万円（前年同期比 454 百万円改善）となりました。また、2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が、事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。

2021年3月期の経営計画では、次の事項を経営戦略目標とし実行を開始しております。

- ① 売上高の回復としてセグメント別の売上高目標の達成及び海外市場への拡販
- ② 原価低減として島根工場の回路保護素子生産設備の福知山工場への移転
- ③ 経費削減として一般管理費の固定経費削減
- ④ キャッシュ・フロー改善として売掛金の回収期間の短縮及びたな卸資産の削減の推進

上記に加えて、独占禁止法及び競争法に関わる件の早期解決並びにコンプライアンス管理体制の維持及び再発防止も継続することにより、今後とも当社は、収益力の回復と経営基盤の安定化に努め、東京証券取引所における上場を維持してまいりたいと考えております。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上